

令和 3 年

七ヶ浜町議会会議録

1月会議      1月8日 開会  
                 1月8日 散会

七ヶ浜町議会

令和3年1月8日（金曜日）

七ヶ浜町議会定例会1月会議会議録

（第1日目）

令和3年七ヶ浜町議会定例会1月会議会議録第1号

---

令和3年1月8日（金曜日）

---

出席議員（13名）

1番	佐藤直美君	2番	小林倫明君
3番	仁田秀和君	4番	木村稔君
5番	熊谷明美君	6番	佐藤壮一君
7番	安倍敏彦君	8番	遠藤喜二君
9番	渡邊淳君	10番	遠藤久和君
11番	佐藤梶信君	12番	歌川渡君
14番	岡崎正憲君		

---

欠席議員（1名）

13番 佐藤衛君

---

説明のため出席した者

町長	寺澤薫君
副町長	平山良一君
総務課長	高橋勉君
政策課長	荻野繁樹君
復興推進課長	小野賢一君
財政課長	安達正彦君
税務課長	小野勝洋君
町民生活課長	藤井孝典君
産業課長	小玉寿君
建設課長	鈴木英明君
水道事業所長	小野誠司君
国際村事務局長	後藤謙一君

子ども未来課長	渡辺 とき子 君
健康福祉課長	渡辺 文昭 君
長寿社会課長	遠藤 裕一 君
防災対策室長	石井 直紀 君
会計管理者	斎藤 重俊 君
教育長	武田 光彦 君
教育総務課長	佐藤 浩明 君
生涯学習課長	鈴木 雅浩 君

事務局職員出席者

議会事務局長	庄子 克也 君
同書記	米本 哲也 君

議事日程 第1号

令和3年1月8日（金曜日） 午前10時00分 開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 会議日程の決定
- 日程第4 議案第1号 令和2年度七ヶ浜町一般会計補正予算（第8号）
- 日程第5 議案第2号 令和2年度七ヶ浜町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 日程第6 議員の派遣について

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 会議日程の決定
- 日程第4 議案第1号 令和2年度七ヶ浜町一般会計補正予算（第8号）
- 日程第5 議案第2号 令和2年度七ヶ浜町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 日程第6 議員の派遣について

午前10時00分 開会

○議長（岡崎正憲君） 皆様、新年明けましておめでとうございます。執行部各位、議員各位におかれましては、コロナ禍という足かせがあるとはいいいながらも、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

ただいまから、令和3年七ヶ浜町議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は13名であります。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

---

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（岡崎正憲君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、議長において9番渡邊 淳議員、10番遠藤久和議員を指名いたします。

---

#### 日程第2 会期の決定

○議長（岡崎正憲君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。令和3年七ヶ浜町議会定例会の会期は、本日から12月28日までの355日間といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岡崎正憲君） 異議なしの声が多数ありますので、異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日から12月28日までの355日間と決しました。

---

#### 日程第3 会議日程の決定

○議長（岡崎正憲君） 日程第3、会議日程の決定を議題といたします。

お諮りいたします。令和3年七ヶ浜町議会定例会1月会議の日程は、本日1日間といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岡崎正憲君） 異議なしの声がありますので、異議なしと認めます。よって、1月会議の日程は、本日1日間と決しました。

---

## 諸般の報告

○議長（岡崎正憲君） ここで、諸般の報告を申し上げます。

諸般の報告の資料をお手元に配付しておりますが、若干説明を加えさせていただきます。

初めに、12月24日、令和2年第4回宮城東部衛生処理組合議会定例会が開催され、組合議員であります安倍敏彦議員、遠藤久和議員が出席をしてきております。

次に、昨年12月25日、令和2年第4回塩釜地区消防事務組合議会定例会が開催され、組合議員であります仁田秀和議員、佐藤壮一議員が出席をしてきております。

昨年12月に行われた例月出納検査の結果が監査委員より報告されておりますので、お目通し願います。

また、今定例会に出席している職員は、お手元に配付したとおりであります。

以上で、諸般の報告を終わります。

ここで、寺澤 薫町長より、招集及び新年の挨拶をいただくとともに、提案理由の説明をお願いいたします。寺澤 薫町長、御登壇願います。

〔町長 寺澤 薫君 登壇〕

○町長（寺澤 薫君） 新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日、令和3年七ヶ浜町議会定例会を招集いたしましたところ、御出席を賜り誠にありがとうございます。

それでは、定例会1月会議の開催に当たり、挨拶を申し上げます。

令和3年、2021年がスタートいたしました。昨年は、コロナに始まり、コロナで暮れた一年でありました。そしてさらに今、状況が悪化し、厳しい年明けとなっております。この世界を席卷し、国難と言える新型コロナウイルス感染症への対応は収まる気配がなく、今後はワクチンの接種など、市町村での対応が求められる状況となっております。一方、今年には震災から10年という大きな節目の年を迎えます。町の復興事業が完結する傍ら、一部専門家では次の自然災害の発生も懸念をされております。今後も気を緩めることなく、常に災害に備え行動していくことが必要であります。

また、今年には、新型コロナウイルスの影響もあり、社会は大きな潮目にあると思います。ニューノーマル、新しい生活様式と、ワーケーション、キャッシュレスやデジタル化の進行など、歴史的な1年となるかもしれません。本町におきましても、心の復興をはじめ、人口減少、高齢化、少子化への対応、各公共施設の老朽化対策や維持管理など課題は山積しておりますが、時代の

潮流を見極めながら、1年延期した長期総合計画の策定はもとより、8回目となる第8期の介護保険事業計画の策定など、しっかりと進めてまいりたいと思います。

本年も心かよう健幸のまちづくりに向け、掲げている6つの政策をブラッシュアップしてまいります。特に、町民福祉は喫緊の課題であり、本年は町民の健康づくりに力を入れ、攻めの福祉をテーマに取り組んでまいり所存でございます。

さらに、これからは情報社会への対応が急務であり、一人一人が意見を持ち、意見を発信していく社会へと変わっていくと思います。デジタル化の進展は急速な勢いで浸透してまいりますので、しっかりと先を見据え進めてまいります。

今後も、安全安心な住みやすい七ヶ浜のまちづくりに向け、実り多き1年となるよう邁進してまいりますので、議員各位の御理解と御協力を賜りますことをお願い申し上げ、令和3年七ヶ浜町議会定例会1月会議の開会に際し挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

---

#### 提案理由の説明

○町長（寺澤 薫君） それでは、令和3年七ヶ浜町議会定例会1月会議に御提案いたしました議案の御説明をさせていただきます。

今回提出いたしました議案の詳細につきましては、後ほど担当課長から説明申し上げますので、私からは要点のみを説明させていただきます。

議案第1号は一般会計補正予算であります。補正の額は126万6,000円の追加で、補正後の総額を歳入歳出それぞれ113億1,962万円とするものであります。歳出の主な内容としましては、ひとり親世帯への臨時生活支援給付金の追加、小中学校読書習慣応援事業、小中学校等感染拡大防止環境整備事業等の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の追加及び整理、そして新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業等であります。主な財源としましては、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等を充てております。

次に、議案第2号は介護保険特別会計補正予算であります。保険事業勘定における補正の額は92万4,000円の追加で、補正後の総額は歳入歳出それぞれ17億8,585万8,000円とするものであります。主な内容としましては、介護予防教室事業に係る感染症対策費用であります。

以上、御提案いたしました議案等について説明をさせていただきましたが、何とぞ、慎重審議の上、御同意賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明とさせていただきます。ありがとうございました。

---

日程第4 議案第1号 令和2年度七ヶ浜町一般会計補正予算（第8号）

○議長（岡崎正憲君） 日程第4、議案第1号令和2年度七ヶ浜町一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。財政課長。

〔財政課長 安達正彦君 登壇〕

○財政課長（安達正彦君） 議案第1号令和2年度七ヶ浜町一般会計補正予算（第8号）について説明いたします。

議案書1ページをお開きください。

まず、第1条として、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ126万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ113億1,962万円に定めようとするものであります。

今回補正する主なものとしましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費の追加及び整理、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、コミュニティ助成事業などであります。

次に、歳入について主要な部分を説明いたします。6ページをお開きください。

15款2項5目教育費国庫補助金239万4,000円の減額につきましては、公立学校情報機器整備費補助金の減額で、小中学校タブレット端末購入事業がほぼ完了し、補助額が確定したことによる減額であります。

7目衛生費国庫補助金176万円につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金で、市町村においてワクチン接種体制を整備する事業に対して、国から交付されるものであります。

21款4項3目雑入190万円につきましては、松ヶ浜地区の祭り用やぐら整備事業に対し、自治総合センターから助成されるものであります。

次、7ページになります。歳出について主要な部分を説明いたします。

2款6項1目企画総務費190万円につきましては、松ヶ浜地区に交付するコミュニティ活動備品購入事業補助金で、歳入の21款4項3目の雑入で説明しました、自治振興センターからの助成金を松ヶ浜地区に交付するものであります。

10目新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費3,184万円につきましては、新規事業の追加及び既存事業の整理であります。

2節、3節、4節につきましては、ひとり親世帯への臨時生活支援事業に従事する会計年度

任用職員 1 人 3 か月分の給与及び職員の時間外手当等の人件費であります。

7 節報償費 419 万 1,000 円につきましては、小中学校読書習慣応援事業で、町内小中学生に対して、1 人当たり図書カード 3,000 円分を配布するものであります。

10 節需用費 31 万 3,000 円につきましては、新規の遠隔地会議環境整備事業などの消耗品へ追加するものであります。

8 ページになります。11 節役務費 4 万 8,000 円の減額につきましては、あかちゃん応援パッケージ支給事業、ひとり親世帯への臨時生活支援事業などの郵便料や振込手数料等の追加や減額であります。

12 節委託料 8 万 2,000 円につきましては、高齢者インフルエンザ予防接種委託料の追加と、あかちゃん応援パッケージ支給事業の減額などであります。

9 ページになります。14 節工事請負費 2,679 万 6,000 円につきましては、役場 1 階南側からさくら児童館、歴史資料館にウイルス抑制機能つき等のエアコンに交換、新設する工事と、小中学校の手洗いのハンドル水栓器具をレバー式に交換する工事であります。

17 節備品購入費 790 万 2,000 円につきましては、各種集団健診用、それから図書センター用、役場庁舎用の感染予防備品購入代と、遠隔地会議用パソコン等購入代及び庁舎窓口順番受付システム等購入代であります。

18 節負担金、補助及び交付金 910 万円の減額につきましては、あかちゃん特別定額給付金の減額 150 万円、それと学生生活維持支援金の減額 1,310 万円。それから、ひとり親世帯への臨時生活支援給付金が 550 万円の追加で、こちらにつきましては 1 世帯当たり 2 万円に加えて、子供 1 人当たり 1 万円を追加支給するものであります。

10 ページをお開きください。27 節繰出金 92 万 4,000 円につきましては、介護保険特別会計への繰り出しで、介護予防教室等に係る感染予防用品を購入するためのものであります。

3 款 2 項 8 目放課後児童健全育成事業費につきましては、さくら児童館の備品購入等に係る各節区分の追加、減額等の組替えであります。

14 目新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業費についても 8 目同様であります。

11 ページになります。4 款 1 項 11 目新型コロナウイルス感染症対策事業費 187 万 5,000 円につきましては、新型コロナウイルス感染症対策消耗品として防護服セット等の購入と新型コロナウイルスワクチン接種に伴う電算委託料であります。

7 款 1 項 3 目新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業費 2,000 万円の減額につきましては、今月 15 日が申請期限となっております事業継続地域支援金について、1 月 7 日、昨日現在

373事業者から申請があり、数社の申請分の余裕を持たせた上で減額するものであります。

10款1項8目新型コロナウイルス対策教育体制緊急整備及び環境整備事業費1,324万5,000円の減額につきましては、小中学校タブレット端末購入代及び端末ネットワーク設定委託について、ほぼ事業費が確定したことから整理するものであります。

12ページになります。13款1項1目予備費につきましては財源調整であります。

以上、よろしくお願いたします。

○議長（岡崎正憲君） これより、質疑に入ります。質疑ございませんか。歌川議員。

○12番（歌川 渡君） 16点あります。

○議長（岡崎正憲君） 4点。4点からいきます。

○12番（歌川 渡君） あとは、この後他の議員が質問すれば、ダブルば変更するかと思いますのでよろしくお願いたします。

歳出の項で質問させていただきます。

7ページ、款2総務費項6企画費目1企画総務費節区分18負担金、補助及び交付金190万円の松ヶ浜地区コミュニティ活動備品購入事業補助金についてであります。要するにこの190万円の備品購入の品目について、詳しく説明を求めたいと思います。

2点目、次ページ8ページ、同じく12節区分委託料のその他の中の町民生活課における庁舎窓口順番受付システムサポート料について、事業内容について説明を求めたいと思います。

次、3点目下段、子ども未来課の中のあかちゃん応援パッケージ支給事業委託料を減額、60万円について、事業確定したことによるものなのか、それも含めて。そうであれば、当初の対象者と現支給者数について説明を求めたいと思います。

4点目、9ページです。同じく節区分14工事請負費の中の2,679万6,000円について、各課ごとの整備事業費用について説明を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） それでは1問目。まず、政策課長。

○政策課長（荻野繁樹君） まずは1点目の質問でございます。7ページの企画総務費の負担金、松ヶ浜地区コミュニティ活動備品購入事業の備品の内容でございます。内容といたしましては、松ヶ浜地区のコミュニティ活動に使用する祭り用のやぐら、そして、ちょうちんになってございます。1問目は以上でございます。

○議長（岡崎正憲君） 2問目、受付システム。町民生活課長。

○町民生活課長（藤井孝典君） 2問目の8ページ目、12委託料の庁舎窓口順番受付システムサポート料につきまして御説明いたします。こちらにつきましては、次の9ページ、17備品購入

費で御提案させていただいている受付システム等購入代になっておりますが、この機器の保守料ということになっております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 3問目、子ども未来課長。

○子ども未来課長（渡辺とき子君） 3点目のあかちゃん応援パッケージの委託料の減額につきましては、議員質疑にありましており、見込み数が出たことによる減額ということをございまして、当初、赤ちゃん出生者数を120名で見えておりました。しかし、見込みとして90名が見込まれますのでその分の減額ということをございます。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 建設工事。財政課長。

○財政課長（安達正彦君） 財政課の役場庁舎感染拡大防止環境整備工事につきましては1,430万円。子ども未来課のさくら放課後児童クラブのほうにつきましては230万円。小中学校合わせてになりますけれども、こちらにつきましては369万6,000円。生涯学習課の歴史資料館、こちらにつきましては551万6,000円をございます。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 一問一答、歌川議員。

○12番（歌川 渡君） まず1点目について。やぐら用祭りとちょうちんのみということなので、それぞれの積算、見積額について改めて求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） まず一問一答ですので1問目から。政策課長。

○政策課長（荻野繁樹君） 今手元に見積りの書類がございませんので、後ほど提示させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（岡崎正憲君） 歌川議員。

○12番（歌川 渡君） 2点目については了解しました。3点目についても了解いたしました。4点目ですね。4点目について、事前の資料で、それぞれ小中学校の蛇口、ハンドル水栓器具の交換ということでありました。改めて、各小中学校の取替え蛇口数について、個数について説明を求めたいと。全体としては280か所ということでありましたが、改めてそれぞれの小中学校ごとの説明を求めたいと思います。

その中で、生涯学習課の中の歴史資料館感染拡大防止環境整備工事ということをございます。エアコン等の設置ということかと理解するものであります。そこで、エアコンの台数について何台なのか。そのエアコン台数についても子ども未来課の中に書かれているさくら放課後児童クラブの感染拡大防止環境整備についてもエアコン設置だと解釈するんですけれども、これについてももしエアコンであれば何台設置するのか説明を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） それではまず、小中学校の。教育総務課長。

○教育総務課長（佐藤浩明君） それでは、小中学校の設置工事箇所の数でございますが、赤楽小学校については50か所。松ヶ浜小学校は60か所。汐見小が80か所。七ヶ浜中学校が60か所。向陽中が30か所でございます。以上でございます。

○議長（岡崎正憲君） それから、歴史資料館の台数関係。生涯学習課長。

○生涯学習課長（鈴木雅浩君） 歴史資料館のエアコンでございます。展示室2台、あと事務室のほうは1台、合計3台になります。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 子ども未来課長。

○子ども未来課長（渡辺とき子君） さくら放課後児童クラブにつきましては、エアコン2台となっております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 歌川議員、いいですか。

○12番（歌川 渡君） 了解しました。

○議長（岡崎正憲君） ほかに質疑ございませんか。仁田議員。

○3番（仁田秀和君） 1点でございます。

議案書11ページの4款1項11目12節の下段、新型コロナウイルスワクチン接種に伴うクーポン券等作成業務委託料について伺います。国のほうでは昨年12月には改正予防接種法が成立し、コロナワクチン接種費用を無料とする接種整備体制を整えたものと理解しておりましたが、今回このクーポン券等作成業務委託料とのことですが、目的など内容の説明を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） まず予防接種のほうに関しましては、報道でもされているとおり、医療関係者につきまして恐らく2月末あたりから接種される見込みです。あと、国のほうでは首相が言っていますとおり、3月末頃までには一般住民、高齢者のほうから打ち始めるという形で進んでおります。そのために、一応打つ前に予防接種するためのクーポン券、無料クーポン券なんですけど、こちらは事前に配布する必要があります。それで、3月ですと間に合いませんので、一応国のほうで補助金のほうがめどが立ちましたので、今回1月に定例会の初日ということで、今回計上させていただいたものです。

○議長（岡崎正憲君） 仁田議員。

○3番（仁田秀和君） 事前に準備されるものということで、大変必要なことだと思います。そうございましたら、町民の皆様にお示しする際には、例えばコロナワクチン接種券とか、そういった十分に費用負担がないということが分かるように、そういったことを十分に配慮が必

要だと思いますが、その辺についてはいかがでしょうか。

○議長（岡崎正憲君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） 議員さんのおっしゃったとおり、そういう部分も十分周知するように心がけて当たってまいりたいと思います。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 仁田議員。

○3番（仁田秀和君） 最後に、今後コロナワクチンが確保された際に、早急に町民の皆様にスムーズに行き渡るように準備を徹底しておくものと理解してよろしいのか、最後に伺いたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） そのとおりでございます。

○議長（岡崎正憲君） ほかに質疑ございますか。木村議員。

○4番（木村 稔君） 5点です。

○議長（岡崎正憲君） 5点ですか。じゃあ、3点まず入れてください。

○4番（木村 稔君） まず7ページ、2款6項10目節区分7、414万円の小中学校読書習慣応援事業でございます。こちら、読書習慣を身につけることができるという確固たる自信があつて行う事業なのか。回答を求めたいと思います。

2点目、9ページ、こちらの小中学校における感染拡大防止のための環境整備事業。こちらの非接触型の自動水栓にした場合の、改めてですが試算見積額は幾らだったのか。行っていれば単価を含めた詳しい説明を求めます。ないならないで結構です。

3点目、8ページ、2款6項10目節区分12公共施設感染拡大防止事業、こちらの中の窓口順番受付システムサポート料ですが、これ1万8,000円と。こちらの町民生活課の窓口の待合室における混雑というのが職員目線から見てやっぱり深刻な状況なのかどうか。その回答を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 1問目、図書カードの関係。政策課長。

○政策課長（荻野繁樹君） それでは、議案書7ページの7節報償費の小中学校読書習慣応援事業図書カード代に関する質問でございました。読書の習慣が確固たる自信があるということで企画したのかという内容でございますが、先般の議員全員協議会でその企画書を御覧になったかと思うんですが、まずはコロナ禍による影響で外出を控える生活を余儀なくされていると。そういった中で、心の健康が懸念されております。安らかに読書を楽しむ機会を今回は与えるということでございます。いろいろ調べますと、例えばイギリスの大学の研究によると、読書

によって軽減されるストレスは68%あるそうです。音楽鑑賞とか、ゲームとか散歩よりストレス軽減が上回っているということもありますので、こういったコロナ禍において必要な事業ではないのかなということで創設したものでございます。1問目は以上でございます。

○議長（岡崎正憲君） 蛇口関係です。教育総務課長。

○教育総務課長（佐藤浩明君） それでは2問目でございますが、非接触型水栓への見積りなどは行っておりません。以上でございます。

○議長（岡崎正憲君） 3問目、受付システム関係。町民生活課長。

○町民生活課長（藤井孝典君） それでは、3問目の御質問につきまして御回答いたします。混雑状況につきましてですが、当然のことながら1日の中でも波がございまして、混雑しているときのデメリット、不安点としましては、職員が全て来たお客様に当たっている。その中でさらに波があり、次のお客様が来る。となると、お客様を応対する窓口が埋まっている状態で、受付もできないで待っていて、その場から離れられないという御不安を抱えるお客様が出るということで、特に月曜日であったり、金曜日であったり、連休明け等々によく見受けられる状況であるという点を認識しております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 木村議員、1問目。

○4番（木村 稔君） 1問目と3問目の再質問のみをします。1問目でございますが、こちら68%安らぐという。素晴らしいですね。これ3,000円ですね。適正な金額だという意見をお持ちなのか。この金額ですね、3,000円が適当だという、妥当な金額だという認識を持っているのか。その回答を求めます。

○議長（岡崎正憲君） 政策課長。

○政策課長（荻野繁樹君） 自由に図書カードで本を選ぶということになりますが、まずは入り口、機会として提供するという今回の趣旨でございますので、3,000円でその図書を購入して、継続的に図書に親しむ、それからは御自身で買っていただくということになろうかと思っております。あくまでも機会の提供ということで整理をしています。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 木村議員。

○4番（木村 稔君） 算出根拠は3,000円、こちらどのような観点から3,000円というのを決めたのか。ない場合はないで結構です。回答を求めます。

○議長（岡崎正憲君） 回答を求める形でお願いします。ない場合云々は言わなくて結構でございます。政策課長。

○政策課長（荻野繁樹君） 3,000円ですと妥当な金額かなということでございます。あくまで

も先ほど申し上げた機会の提供ですので、5,000円でも1万円でもいいのかとなると、その機会の提供であれば3,000円。1,000円という選択肢よりは3,000円なのかなということと考えております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 3問目。木村議員。

○4番（木村 稔君） 3問目の再質問ですが、通常は窓口体制、人数というのは何人体制でやられているのでしょうか。その回答を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 町民生活課長。

○町民生活課長（藤井孝典君） 窓口の体制になりますが、主に戸籍住民係4名職員がおりまして、4名が戸籍の発行だったり証明書発行に常時当たっている状態です。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 木村議員。

○4番（木村 稔君） 4名、でも忙しいときは忙しいんですね。それは仕方ないです。しかし、こちらは券の発行ですが、窓口に入ると受付のお姉さんたちがいますけれども、その方に渡してもらうという、そういった機械でなきゃやっていけない業務というのはどうなんですかね。この受付のお姉さんたちというのを使うことはできないですかね。お金を使わなくたって十分可能なんじゃないのかなって思っちゃうんですけども。回答を求めます。

○議長（岡崎正憲君） どうしますか。業務内容になってくるんですが。木村議員、今質問されたのは受付の事務員が渡せばいいじゃないかという質問ですか。受付に1人おりますけれども。

○4番（木村 稔君） お姉さんたちいますよね。機械じゃなくてもそういったことは考えられなかったのか。

○議長（岡崎正憲君） その方のことを今聞いているわけですね。

○4番（木村 稔君） そうです。

○議長（岡崎正憲君） そうすると、総務課長あたりかな。町民生活課長。

○町民生活課長（藤井孝典君） ただいまの再質問につきましてになります。まず、受付の方、スタッフということの前に今回ちょっと受付の自動で出す部分につきましてですが、考えているのが町民生活課側のフロアのみになります。ですので、総合受付のところに置いてしまうと、税務課側であったり、子未来側であったりとかというところの対応が今回ではケアはされておられませんので、まず町民生活課側のほうにおいて、残りのそこにある長寿福祉課、あと健康福祉課を網羅するという形で提案させていただいたものになります。スタッフにつきましては、ちょっと委託事業と別になりますので、こちらの回答はこちらでは差し控えさせていただきます。

○議長（岡崎正憲君） スタッフの関係、総務課長お願いします。

○総務課長（高橋 勉君） まず、総合受付でございますが、役場にきたお客様全体の御案内と  
いうようなことになりますので、町民課とか、そういった窓口ですと一斉に何名か来られたり  
するということがありますので、やはり機械に頼らざるを得ないと考えてございます。

○議長（岡崎正憲君） ほかに質疑ございませんか。熊谷議員。

○5番（熊谷明美君） 1問ございます。

ページが11ページ、4款衛生費1項保健衛生費目区分11新型コロナウイルス感染症対策事業  
節区分12委託料ですね。こちらの新型コロナウイルスワクチン接種に伴うクーポン券等作成業  
務委託料88万円ですね。このことについてお伺いいたします。まず、ワクチンを接種できない  
方というのが、妊婦さんとかそれから子供さん、その方は対象になっていないのではないかな  
と思いますけれども、クーポン券を発行するというので、接種券ですね、発行するというこ  
とで、その対象人数は今現在は何人と見積もっているのか伺いたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） クーポン券に関しましては、今のところ発行枚数は1万9,000  
枚の準備をします。一応なくしたりとか考えられますので1万9,000枚。あと、接種がどこま  
での対象になるかはまだ国のほうでの示しがございませんので、今のところ対象者が、人口今  
1万8,500くらいいますが、そのうちから何人減るかというのはちょっと今のところお答えで  
きる状況ではないということでもあります。国のほうでそういうワクチンの接種の対象が決まり  
次第、また新たに議員の皆様にもお知らせするようになる機会が持てればと思っております。  
以上です。

○議長（岡崎正憲君） 熊谷議員。

○5番（熊谷明美君） その接種の仕方ですけれども、私が調べたところによりますと、その接  
種券が届いたら、この役場のほうに連絡して、いついつ接種したいんですけどという申込みの  
体制だとちょっと聞きました。それで、特に高齢者の方は、今までももちろんそういうシステム  
というか、分からないと思いますし、戸惑うのではないかなと思いますけれども、その辺をや  
はりきちんと手当てといたしますか、お答えできるようなそのような相談窓口、何でも聞いてあ  
げられるようなそのような専用窓口をつくる考えはないか伺いたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） ちょっと議題からそれるとは思いますが、ちょっと考え方とし  
てそういう専門窓口は必要と考えております。今回の補正予算では積みませんが、その後コー

ルセンター的なものとかも後日提案申し上げるようになると思います。今のところは、一番急ぐやつだけ提案させていただきましたので、住民の方、特に高齢者に優しい受付体制とかは取りたいと思っております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 熊谷議員。

○5番（熊谷明美君） この間ニュースで、登米市がもうそういう窓口を開いているというようなことをお伺いいたしました。第3次補正予算の中でもコロナワクチンの予算も出てくるとは思いますけれども、やはり本町もその辺はちゃんと考えていらっしゃると思いますけれども、特に高齢者の方は今回のワクチンは1回だけじゃなくて2回接種するということもありますので、きちんとその辺の窓口を設定するような考えをしていただきたいと思います。再度その辺の決意を伺いたしたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 予算の中とちょっと違うんですが、システムとしての考え方として答えただけですか。健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） このコロナウイルスワクチン接種事業に関しましては、全庁的取組をやっていきなさいと国からもきつく申されております。あと、町長をはじめ役場組織全体でこちらのほうを対応していくという形で意欲を持ってやっておりますので、町長さんもその辺はよく分かっておりますので、安心していただきたいというところでございます。以上です。

○議長（岡崎正憲君） ほかに質疑ございますか。佐藤直美議員。

○1番（佐藤直美君） 1問です。10ページの2款6項10目18節、10ページの上の上段。ひとり親世帯への臨時生活支援給付金へ追加に関してになります。こちらの概要としまして、新型コロナウイルス感染拡大のため、経済的な影響を受けているひとり親世帯に臨時生活支援給付金を追加支給するということですが、以前も国のほうでも既に支援をしていると。また、ひとり親世帯、今回も支援していただけるということですが、ひとり親世帯じゃなく、両方お父さんお母さんいたとしても生活に困窮して、収入が減ってしまったという御家庭もいるかと思うんですが、そういった御家庭に給付をする考えはなかったのかどうか、お伺いしたいです。以上、1点になります。

○議長（岡崎正憲君） 今ここの関係はひとり親世帯への給付ということに限定された予算でございますけれども、それに関係しまして考えられることがあればお答えできればお願いします。副町長、お願いします。

○副町長（平山良一君） それでは、私のほうから考え方という部分でお答えをしたいと思いま

す。

現時点では、ひとり親にということで限定させていただきますが、やっている中でそういった声が多くなってくれば、交付金の見合いということで考えなければならないという場面が出てきた場合には、ちょっと検討させていただくというようなことで御理解いただきたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 佐藤議員。

○1番（佐藤直美君） これは本当に素晴らしい施策なので、進めていただいて本当に感謝はしているんですが、こういった声が上がってきたらと今副町長おっしゃったので、そういった声をどのように上げていくべきなのか。そういうのは町民の方に広く周知徹底するお考えがないのかお伺いしたいんですが。それが駄目ならすみません。

○議長（岡崎正憲君） 先ほども申しましたけれども、一応ここでの予算としてはひとり親世帯の臨時給付金ということですので、それ以外のシステムとして今説明いただいたんですけども、副町長もしそれ以上の答えができるようでしたらお願いします。副町長。

○副町長（平山良一君） それでは、改めて説明いたしたいと思いますけれども、私が独り親についてどうのこうのというのは聞いたということではなくて、今後そういう事業がやっている中で、二人親とかいろいろな世帯から意見がいろいろ出てきた場合にはどういうふうに拾っていくか検討をしたいということでございますので、私の答弁が足りなかった部分がありましたらお許しをいただきたいと思います。以上です。

○議長（岡崎正憲君） ほかに質疑ございますか。ないようでしたら、歌川議員。次の4問お願いします。

○12番（歌川 渡君） 最初のほうで9ページです。17の6項企画費節区分17備品購入費の町民生活課、庁舎窓口順番受付システム等購入代97万2,000円について伺いたいと思います。まず、理解する上では、よく郵便局とか銀行なんかには設置されているカウンターにある、紙みたいなのを受け取ってくださいというものと理解するんですけども、まずそれだと理解して質問させていただきます。要するに、その紙、ペーパーですね、それは職員のほうでどういう確認、取扱いを行うのかどうか。その点を伺いたいと思います。

2点目、下段の生涯学習課の図書センター用備品購入代200万2,000円について。その購入備品の内訳について詳しく説明を求めたいと思います。

あと、同じ、節区分18負担金、補助及び交付金のマイナス910万円の中の子ども未来課の中のかちゃん特別定額給付金を減額ということで150万円ほどあります。これも先ほど当課に

質問されたものと類似する確定に伴う減額かと思いますので、ここについても当初の対象者数と実給付人数について説明を求めたいと思います。

4点目、同じ負担金、補助及び交付金の中の教育総務課の学生生活維持支援金を減額、マイナス1,310万円、これについても当初予算、見積りの対象者人数と実支援者人数について説明を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 1問目から、町民生活課長。

○町民生活課長（藤井孝典君） それでは、御質問につきましてお答えをさせていただきます。

窓口の受付システムにつきましては、おおよそは御指摘のとおりとなりますが、まず整理券を発行する機械の隣にタッチパネルを用意します。タッチパネルにはお客様が主に用件があるであろう、例えば証明書発行であったり、国保であったり、年金であったり、用件があるであろうメニューを用意してタッチしてもらいます。そうするとタッチしたもののための整理券が発行されます。整理券には、例えば証明書でお待ちの1番の方とか、国保でお待ちの1番の方、と用件ごとに順番が整理されます。そこで受付したものが今度職員側のほうにモニターがございまして、今この業務で何名の方受付が入りました、何名の方がお待ちいただいていますというものが即時出ますので、職員はそれを見て、証明書担当であれば証明書の担当が証明書でお待ちの1番のお客様とお呼び出しして受付を完了したと、タッチして整理すると。あと、お客様側にも大きなモニターで今の待合状況のほうを表示させていただくというような流れで考えております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 2問目の備品関係、生涯学習課長。

○生涯学習課長（鈴木雅浩君） 図書センターの備品購入代の内訳でございます。まず1点目が図書消毒機の購入代、105万6,000円になります。2点目が体温検知顔認証カメラの購入代、37万4,000円になります。それから、3点目です。図書の購入代、57万2,000円。以上になります。

○議長（岡崎正憲君） 3問目、赤ちゃんの関係。子ども未来課長。

○子ども未来課長（渡辺とき子君） こちらにつきましては、先ほどの委託料と同様でありまして、予算計上時は120名で見ておりましたが、90名の見込みとなっております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 学生生活関係の。教育総務課長。

○教育総務課長（佐藤浩明君） 学生生活維持支援金につきましては、当初600人を見ておりましたが、結果的に338人を見込んでこちらの減額とさせていただいているところでございます。以上でございます。

○議長（岡崎正憲君） 1問目から、必要あれば。歌川議員。

○12番（歌川 渡君） 1点目ですね。要するにタッチパネルを触るわけですよね、指で。そうすると、例えば次の人が同じタッチパネルで同じ書類等を必要とした場合は感染リスクがあるわけですよね。そのときの対応はどうするのかということと、あとは紙、順番のレシートが出るんでしょう。そうするとそのレシートの取扱いは職員がどのように対応するのか。それを受け取るのか、確認だけするのか。その点。

○議長（岡崎正憲君） 町民生活課長。

○町民生活課長（藤井孝典君） それではまず、最初の感染リスクの点につきまして。こちらの運用になりますが、まず役場の受付、正面入ったところにはまず検温器がございます。検温器、あとアルコール消毒のスプレーが置いてありますので、必ずそれをしていただいてからタッチパネルには触っていただくという形にはなります。タッチパネルにつきましても、今窓口等は定期的にアルコール消毒、カウンター等行っておりますので、タッチパネルも定期的にアルコール消毒で拭くような形を考えております。

あと、整理券につきましてですが、整理券は確認させていただければ、システムのモニターのほうにそのまま反映されておりますので、万が一回収しなくてもお客様に不具合、不利益等出るものではないと考えております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 歌川議員。

○12番（歌川 渡君） タッチパネルについては定期的に消毒しているということであります。要するに定期的というのは一定の期間があるわけですよね。その期間に接触する可能性というのは十分考えられないのか。そして、例えば総合受付のところ、例えば、私なんかは裏から入りますので、あそこは通らないんですよ。必ずしも前から通るわけじゃないですよね。その場合の確認というのはどういうふうに、今言った高温じゃなければそういう症状がないということで感染していないということではあるかもしれないのだけれども、濃厚接触者の疑いとかというの也被るわけですよね。そういうときに1回ごとにするような体制をつくらない限りは、定期的にだったらやらなくたって同じじゃないですか。それでどういうふうに対応するのか。

○議長（岡崎正憲君） 町民生活課長。

○町民生活課長（藤井孝典君） まさに随時になりますと、御指摘のとおりケース、また正面玄関以外からの入ってくる方がいらっしゃれば御指摘のとおり形になることは想定されますが、現在のところはまず案内板を、誘導をしっかりとした上で、手の消毒と検温は必ず通っていただいた上でその発券機のところにたどり着くような動線で対応を考えたいと考えており

ます。また、タッチしなくてもいいようなペン等があれば、そちらのほうも併せてちょっと考えていきたいと思っております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 歌川議員、2問目になります。

○12番（歌川 渡君） ほかにについては数字的なものなので再質問は終わらせていただきます。

○議長（岡崎正憲君） 残りの歌川議員と木村議員になっておりますので、ここで休憩させていただきます。休憩10分取らせていただきます。11時10分。12分か。11時10分再開いたしますので、休憩いたします。

午前10時58分 休憩

---

午前11時10分 再開

○議長（岡崎正憲君） 再開いたします。

質疑、木村議員。残り2問お願いします。

○4番（木村 稔君） それでは、9ページの2款6項10目節区分14、こちらのエアコンのことで伺います。これ、ウイルス抑制機能つきエアコン、これ感染拡大の防止にどのくらい有効であると考えてらっしゃるのか。回答を求めます。

○議長（岡崎正憲君） どちらのほうに聞いておりますか、今。何課のほうに今聞こうとしていきますか。2つありますので。（「木村さん、2問じゃないの」の声あり）

○4番（木村 稔君） 2問。両方、両方。

○議長（岡崎正憲君） それで2問なんですね。

○4番（木村 稔君） いや、違います。2問ね、2問。

残りは11ページ、7款1項3目節区分18、こちら事業継続支援金の2,000万円の減額でございますけれども、現在、何事業者が支援金の交付を受けたのか、回答を求めます。

○議長（岡崎正憲君） 1問目、エアコンの関係でございます。財政課長。

○財政課長（安達正彦君） ウイルス抑制ということで、完璧にできるかどうかというのはまだいろいろ大学の試験結果とかというのもありますけれども、なかなか100%というのはないと思います。ただ、お客さんが来るところとかという部分、それから、さくら児童館とか、お子さんとかがいるところというのを考えると、そういった機能があったほうが当然感染予防にはいいということで検討したものでございます。よろしく申し上げます。

○議長（岡崎正憲君） 産業課長。

○産業課長（小玉 寿君） 申請件数に関しては373件です。

- 議長（岡崎正憲君） 木村議員、いいですか。木村議員。
- 4番（木村 稔君） 1問目の再質問をまず最初にします。こちら、ウイルス抑制機能つきエアコン、これ役場庁舎1階、さくら放課後児童クラブ及び歴史資料館となっておりますが、これ以外には設置しないのでしょうか。回答を求めます。
- 議長（岡崎正憲君） 財政課長。
- 財政課長（安達正彦君） 現時点ではこの場所ということで考えております。
- 議長（岡崎正憲君） 木村議員。
- 4番（木村 稔君） そのぐらい、抑制エアコンということなんですけれども、これをつけたという希望、ほかの放課後児童クラブもそういう声も、いずれそんなに効果があるのであれば聞かれることがあると思うんですけれども、つけたいというところがあった場合、今後どうするお考えなのか。回答を求めます。
- 議長（岡崎正憲君） 財政課長。
- 財政課長（安達正彦君） まず、今回はエアコンが設置されていないところ、それからエアコンは設置してあるんですけれども、旧タイプで耐用年数がもう過ぎて故障が来ているというような、そういったものについて重点的にと考えております。今後そういったものが出てきた場合については、同じように随時考えていきたいと思っております。以上です。
- 議長（岡崎正憲君） 2問目の、いいですか。
- 4番（木村 稔君） いいです。
- 議長（岡崎正憲君） それでは、次に歌川議員の残り8問のうち、まず4問のほうお願いします。
- 12番（歌川 渡君） 6問。
- 議長（岡崎正憲君） じゃあ、6問でしたら、全部行っちゃおう。（「3、3」の声あり）きついな、3、3にしましょう。
- 12番（歌川 渡君） 歳出の項で、ページが10ページ、3款民生費2項児童福祉費目8放課後児童健全育成事業費の中の節区分17備品購入費22万円。この内訳について説明を求めたいと思います。

同じ項で14目新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業費の中の節区分17備品購入、同じく備品購入の内訳について詳細に説明を求めたいと思います。

3点目、11ページ、4款衛生費項1保健衛生費目11新型コロナウイルス感染症対策事業費の中の節区分12委託料176万のうち、取りあえず上段の新型コロナウイルスワクチン接種に伴う

健康管理システム改修委託料88万円について伺います。この事業というのは、市町村の場合の事業については庁舎体制整備として4つほど述べられていると言われております。人的確保、システム改修、今回のですね、あとは印刷、郵送、そして4点目については接種に伴う実施体制、そして5が相談体制ということで、前者の質問がありましたけれども。そこで、この5つの事業をする上で、今回は176万円という交付金というか、来ましたけれども、事業費が。最終的にこの5つの事業をやる上で、七ヶ浜に対する交付予定額というか、そういうものは幾らなのか、現時点で示されているものなのかどうかも含めて説明を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） まず、1点目。子ども未来課長。

○子ども未来課長（渡辺とき子君） まず、10ページの放課後児童健全育成事業費の備品購入費につきましては、空気清浄機2台分となっております。

○議長（岡崎正憲君） じゃあ2点目もお願いします。

○子ども未来課長（渡辺とき子君） 続きまして、2点目の14目の備品購入費につきましては、こちらパーティションを10枚ですね。そちらを購入する予定の費用となっております。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 3問目、ワクチン関係。健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） 国のほうの財源のことですが、今回補正を上げました176万円に関しましては、確定のこの部分でありましたので載せました。これから予備費対応分、あと第3次補正分がありますが、それらのこれからかかる分のものに関しましては、まだ国から示しがありません。以上です。

○12番（歌川 渡君） 了解しました。それぞれ。

○議長（岡崎正憲君） 1、2、3問とも全部オーケーですか。

では、ほかに質疑ございますか。（「なし」の声あり）なければ、歌川議員、残り3問お願いします。

○12番（歌川 渡君） 引き続き、4款衛生費1項保健衛生費目11新型コロナウイルス感染症対策事業費の中の12節区分委託料176万円の下段。新型コロナウイルスワクチン接種に伴うクーポン券等作成業務委託料の88万円について伺います。るる質問の中で、そして答弁の中で、要するに町民の全てにクーポン券を配るような、券を作成するかと思われます。その中で、答弁の中で当面医療従事者とか、あとは高齢者とかということ言われているんですけども、この発行委託については、それぞれ医療従事者、高齢者、壮年、若人、幼児という形での区分があつて、それぞれの接種月とかというものが明記されているものなのか、一括にして、別途案内資料に

基づいて後日やるような形になるのか。その点説明を求めたいと思います。

2点目、11、12ページ、10款教育費1項教育総務費8新型コロナウイルス対策教育体制緊急整備及び環境整備事業費の中の節区分17備品購入費、それぞれ小中学校のタブレット購入がそれぞれ減額されております。これについても、当初予定台数と実台数が1つ。

あと3点目が、そして1台当たりのタブレットの当初見積額と実購入額について説明を求めたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） クーポンの件は、健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） クーポン券に関して説明申し上げます。まず、接種第一段階には大規模医療機関に勤めておられる医療従事者になります。こちらは国の責任でやることになります。第二点で、その他の医療機関は県が調整しながらやる部分があります。その部分は高齢者施設の医療従事者、介護従事者も含まれるということです。そして、我々がやらなくちゃいけないのが高齢者と一般の住民。それで、クーポン券の発出は最初に高齢者のほうを行って、年齢分けであとはその他については、高齢者がクーポン券を使って大体打ち終わる前頃に、大体の人が打った頃に出して、その後一般の方が順次予約受付をしてやるような形で今のところは考えておりますが、まだこちらのやり方について、あとワクチンについてもどのくらい来るかが分かっておりませんので、今のところはこれが今のところの考え方ということで理解していただければと思います。

○議長（岡崎正憲君） 2問目、タブレットの関係です。教育総務課長。

○教育総務課長（佐藤浩明君） それでは、内訳でございますが、当初はまず単価が4万5,000円でございます。そして、小学校では749台。中学校が387台。4万5,000円につきましては、結果的に4万2,427円でございます。以上でございます。

○議長（岡崎正憲君） 歌川議員。

○12番（歌川 渡君） 第1点目から。そうすると、要するにクーポン券そのものはワクチン接種をできますよという一本化で、ただ郵送する期間がそれぞれ違うということで理解してよろしいのかどうか。

○議長（岡崎正憲君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（渡辺文昭君） 今のところの考えでは、高齢者と一般の方とで期間をお分けしてやる考えであります。以上です。

○議長（岡崎正憲君） 歌川議員。

○12番（歌川 渡君） 2点目。台数について。小学校749、中学校が387という説明がありまし

た。これは当初見積り台数と同じということで理解していいのかどうか伺いたいと思います。

○議長（岡崎正憲君） 教育総務課長。

○教育総務課長（佐藤浩明君） 当初の予定どおりでございます。以上です。

○12番（歌川 渡君） 以上で終わります。

○議長（岡崎正憲君） ほかに質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑ないようですので、これにて質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。初めに、反対討論ありませんか。歌川議員。

○12番（歌川 渡君） 12番、日本共産党の歌川 渡です。議案第1号令和2年度七ヶ浜町一般会計補正予算（第8号）に反対の立場で討論いたします。

反対の主な理由は、一昨日の議会全員協議会での本会議に上程される新型コロナウイルス感染対応地方創生臨時交付金における追加施策等の事業説明において、施策の一部が住民、児童、生徒の日常生活の現況に即した十分な施策と言えないことから反対するものであります。

討論の内容は、そのときの事業説明資料に基づいて述べたいと思います。

その1つは、新型コロナウイルスの感染拡大への防止、新規4施策の①小中学校読書習慣応援事業であります。学校休業による学力の低下と、自宅で安らかに読書を親しむ環境を応援し、読書で得る知識、想像力、表現力などを育むことを目的とし、町内小中学生に対し、1人当たり図書カード3,000円分を配布するという事業であります。購入書籍範囲の定めがなく、目的外、例えばゲーム攻略本等の書籍購入も考えられることから、図書券、カードではなく、この目的も含めて、家庭への経済的負担軽減を図るべきではなかったのかどうか。

2つは、③の図書館パワーアップ事業の体温感知機器の購入であります。購入する機器はAI顔認識型とのことでありますが、1日平均来館者は20人から30人であることを述べました。それであれば、ハンディ型の非接触型検温器で十分対応できるのではないのでしょうか。小中学校の登校時における児童生徒の検温時の教員の負担軽減のために、各小中学校に配置することこそ急務ではないのでしょうか。

3つは、④の小中学校における感染拡大防止のための環境整備事業の手洗い場及びトイレ手洗い場のハンドル水栓器具をレバー式水栓器具に交換するとのことでありますが、止水する上で水栓器具に接触することには変わりないのではないのでしょうか。今後のことを考え、人感式の非接触性の水栓器具を交換するべきではないのでしょうか。

4つは、本庁内町民生活課等の窓口の待合室における3密対策として、混雑を解消するため、窓口順番受付システムを設置するとのことでありますが、待合室のスペース拡張及び分散の措

置も講じていない、日常的にも混雑する状況にもなく、ましてや、来庁者同士の会話もほとんど見られない状況であります。よって、現状での同器具の設置は感染予防効果が低いと考えられます。現在の窓口対応で十分ではないでしょうか。

最後になりますが、当交付金の活用において、町内の事業者、自営業者、高齢者を含む全ての町民の生活状況を把握、調査する中で、効果的かつ有効感染予防と経済的支援をさらに求め、本補正予算に反対いたします。

○議長（岡崎正憲君） 次に、賛成討論ありませんか。安倍議員。

○7番（安倍敏彦君） 賛成の立場から討論いたします。

新型コロナ発生から、この事業については新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や、住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業となっております。それに当てはまりますので、この予算のとおり賛成をいたします。

○議長（岡崎正憲君） ほかに討論ありませんか。木村議員。

○4番（木村 稔君） 4番、日本共産党木村による議案第1号令和2年度七ヶ浜町一般会計補正予算（第8号）について反対の立場から討論いたします。

今回の補正は、新型コロナウイルス感染対応地方創生臨時交付金による追加施策が主な内容であり、限られた財源を重点的、効率的な配分と計画的な事務事業の推進が求められるものに対し、新たな施策の小中学校読書習慣応援事業では、知識、想像力、表現力などを育むという崇高な提案理由に対し、町内小中学生に対し1人当たり図書カード3,000円分を配布することですが、今の子供が図書カード3,000円で読書習慣が身につけることができたら安いものです。しかし、残念ながら費用対効果が十分に確保できるのかが不透明であるため、反対であります。

また、小中学校における感染拡大防止のための環境整備事業では、町内小中学校の校内手洗い場の蛇口をハンドル式からレバー式に交換とのことですが、現在、新型コロナウイルス感染症対策を根本から見直した場合に求められている学校の手洗い場の環境整備は非接触型の自動水栓であります。現在、自動水栓は、工事不要で電池式の長寿命、低コストのものを安価に販売しております。したがって、小中学校における感染拡大防止のための環境整備事業、これも費用対効果が十分に確保できるのかが不透明であるため、反対であります。

さらに、公共施設感染拡大防止事業では、町民生活課の窓口の待合室における混雑を解消するため、窓口番号受付システム等の設置をするとのことですが、窓口番号システムを設置しても機械が仕事をするわけではありませんので、混雑は解消されません。町民課の職員のみから

見て混雑していると感じるならば、町民課の職員の人手が単に足りないからではないでしょうか。このコロナ禍の中で、職員が町民に寄り添ったこれは丁寧な業務をしている証拠であります。町長、配置転換等で町民生活課の職員の人手を増員してあげてください。したがって、これも費用対効果が十分に確保できるのかが不透明であるため、反対であります。

あとは、同じく公共施設感染防止事業では、役場庁舎1階、さくら放課後児童クラブ及び歴史資料館にウイルス抑制つきエアコンを設置するとのことですが、新型コロナウイルス感染症対策には換気が一番効果的です。ウイルス抑制つきエアコンでも換気はできません。エアコンでは基本換気ができないんです。新しいエアコンではなく、全熱交換器等の高性能換気設備の設置を優先することが本当の新型コロナウイルス感染症対策になるのではないのでしょうか。これも費用対効果が十分に確保できるのかが不透明であるため、反対いたします。

最後に、事業継続支援金の2,000万円の減額であります。先ほどの質疑で、現在まで373の事業者が支援の交付を受けたそうですが、残余额の2,000万円をこの373の事業者に再分配すれば、まだ5万円の支援金交付が物理的には可能です。ある事業者の方は、町に20万円を頂いて本当に助かったと心から感謝しておりました。そこで、本町に第2弾の事業継続支援金を期待し、本町に激励の意味を込めて事業継続地域支援金の2,000万円の減額に反対いたします。

以上、私からの反対討論とさせていただきます。

○議長（岡崎正憲君） ほかに討論ありませんか。（「なし」の声あり）討論ないようですので、これにて討論を終了いたします。

これより本案を起立により採決をいたします。本案を原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（岡崎正憲君） 起立多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

日程第5 議案第2号 令和2年度七ヶ浜町介護保険特別会計補正予算（第4号）

○議長（岡崎正憲君） 日程第5、議案第2号令和2年度七ヶ浜町介護保険特別会計補正予算（第4号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。長寿社会課長。

○長寿社会課長（遠藤裕一君） 議案第2号令和2年度七ヶ浜町介護保険特別会計補正予算（第4号）について説明いたします。

議案書のほうは13ページを御覧ください。

今回の補正は、保険事業勘定予算について、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ92万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ17億8,585万8,000円に定めようとするものです。

議案書のほうは18ページを御覧ください。

歳入予算の補正内容について説明いたします。

7款1項2目地域支援事業繰入金92万4,000円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の一般会計からの繰入れです。

議案書は19ページを御覧ください。

次に、歳出予算の補正内容について説明いたします。

4款1項1目介護予防生活支援サービス事業費10節消耗品費8万8,000円は、老人福祉センター内元気茶屋と花渕浜地区避難所で開催される通所型介護予防事業の感染拡大防止を図るための衛生用品、アルコールや手袋などの購入分でございます。17節備品購入費22万円は、老人福祉センター内元気茶屋で使用するワイヤレスマイクセット1台と換気用サーキュレーター4台分の購入です。

4款2項1目一般介護予防事業費10節消耗品費61万6,000円は、各地区で開催される地区介護予防教室14か所分の感染拡大防止を図るための衛生用品の購入です。

以上、議案第2号の説明とさせていただきます。

○議長（岡崎正憲君） これより質疑に入ります。質疑ございませんか。（「なし」の声あり）  
質疑ないようですので、これにて質疑を終了いたします。

これより討論に入ります。初めに、反対討論ありませんか。（「なし」の声あり）次に賛成討論ありませんか。（「なし」の声あり）討論ないようですので、これにて討論を終了いたします。

これより採決をいたします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岡崎正憲君） 異議なしの声多数ありますので、異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

## 日程第6 議員の派遣について

○議長（岡崎正憲君） 日程第6、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本年中に開催が予定されます全国町村議会議長会、宮城県町村議会議長会、宮城黒川地方町村議会議長会、二市三町議長団連絡協議会等が主催の各種行事及び各種広域行政事務組合議会の行事並びに七ヶ浜町議会主催の各種行事等に、会議規則第130条の規定により、関係する議員をそれぞれ派遣したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岡崎正憲君） 異議なしの声多数ありますので、異議なしと認めます。よって、本年中に開催が予定されます諸行事等に関係議員を派遣することに決しました。

お諮りいたします。

ただいま議決されました議員派遣について、変更を要するものについては、その措置を議長に一任されたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岡崎正憲君） 異議なしの声多数ありますので、異議なしと認めます。よって、議員派遣について、変更を要するものについての措置は議長に一任されることに決しました。

---

○議長（岡崎正憲君） 以上をもって令和3年七ヶ浜町定例会1月会議に付議された案件は全て終了いたしました。

お諮りいたします。

本定例会は、明日1月9日から12月28日までの354日間を休会といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岡崎正憲君） 異議なしの声多数ありますので、異議なしと認めます。よって、本定例会は、明日1月9日から12月28日までの354日間を休会とすることに決しました。

本日はこれにて散会いたします。

御苦労さまでございました。

午前11時40分 散会

この会議録は、書記が記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

令和3年1月8日

七ヶ浜町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員